

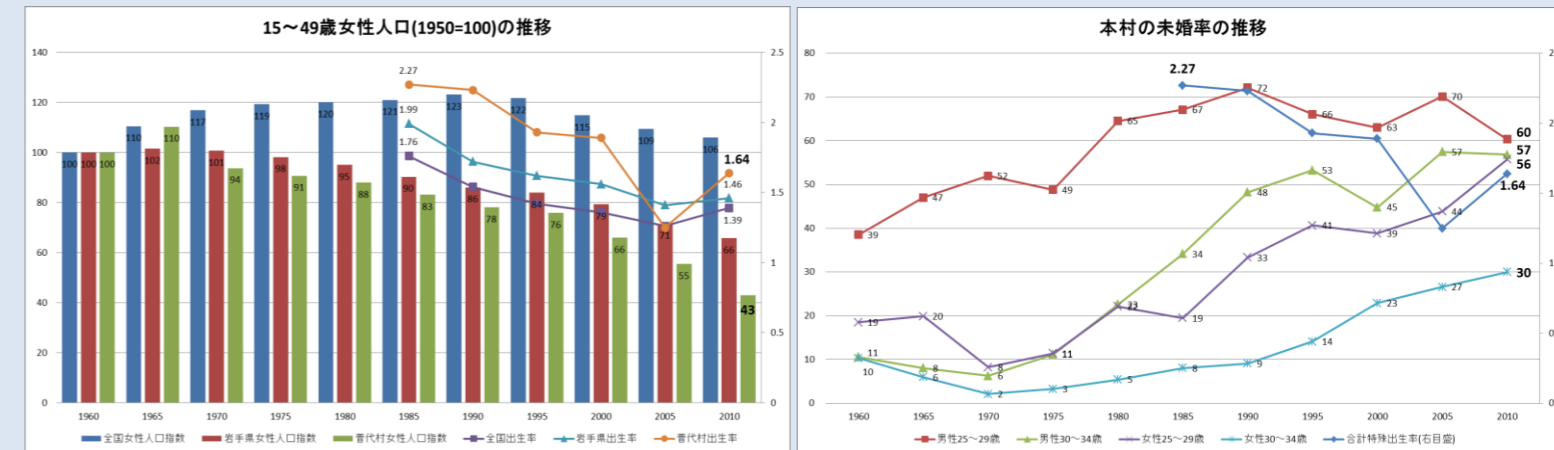
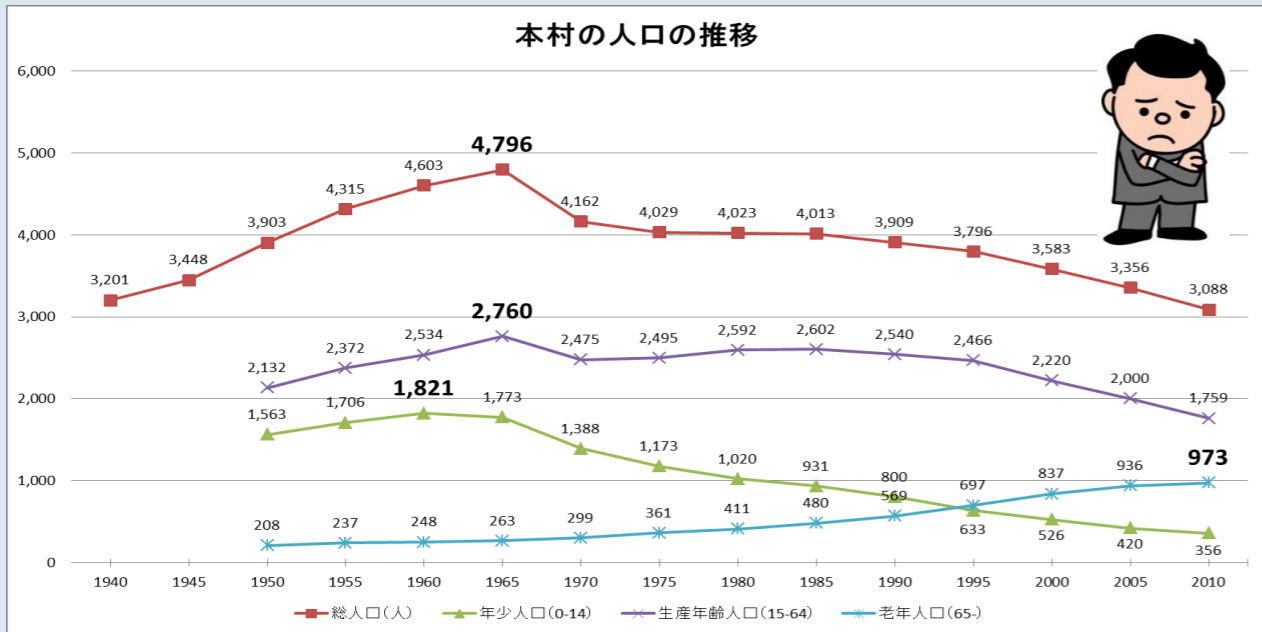
普代村人口ビジョン（素案）の概要（1/2）

「普代村人口ビジョン」は、本村における人口の現状を分析し、今後の人口展望を示すもので、2040年、また、さらにその先の長期的な展望を示します。

○ 普代村の人口の現状

1 長期的な人口の推移

普代村の人口は、昭和40年（1965年）以降減少し続けています。

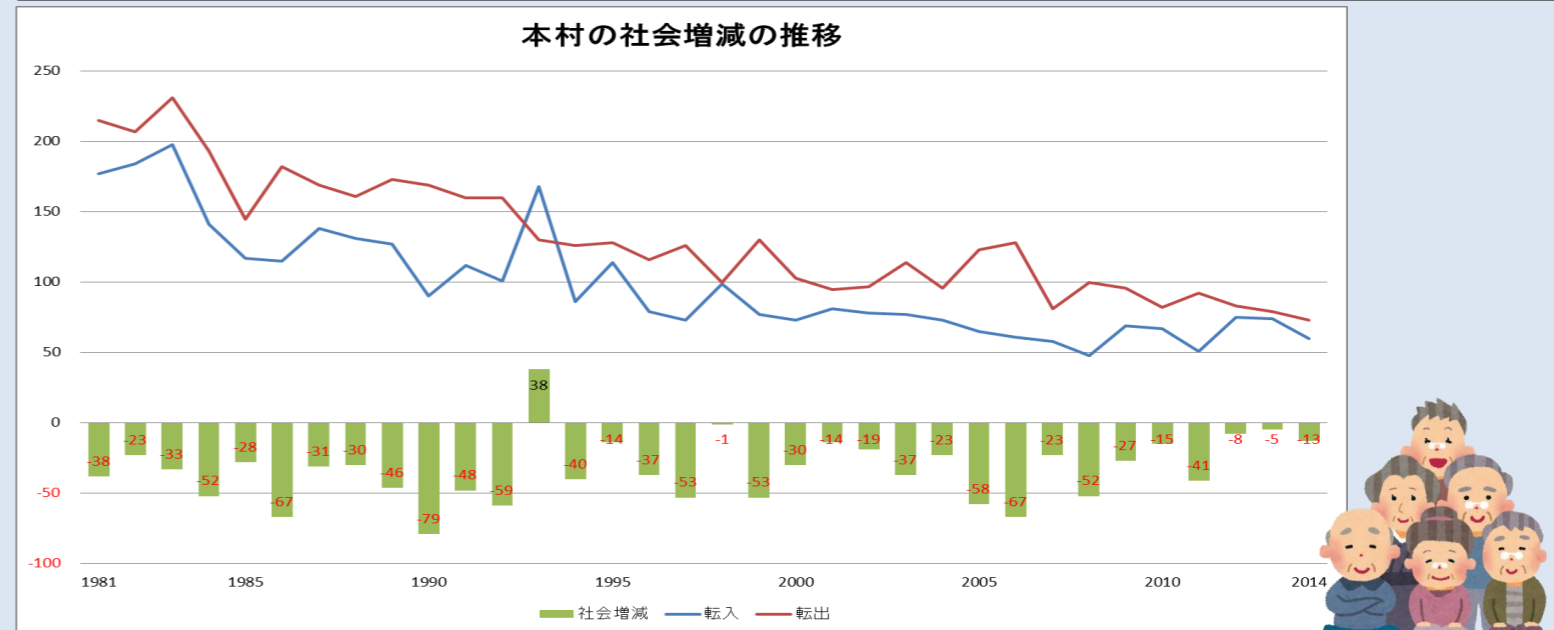
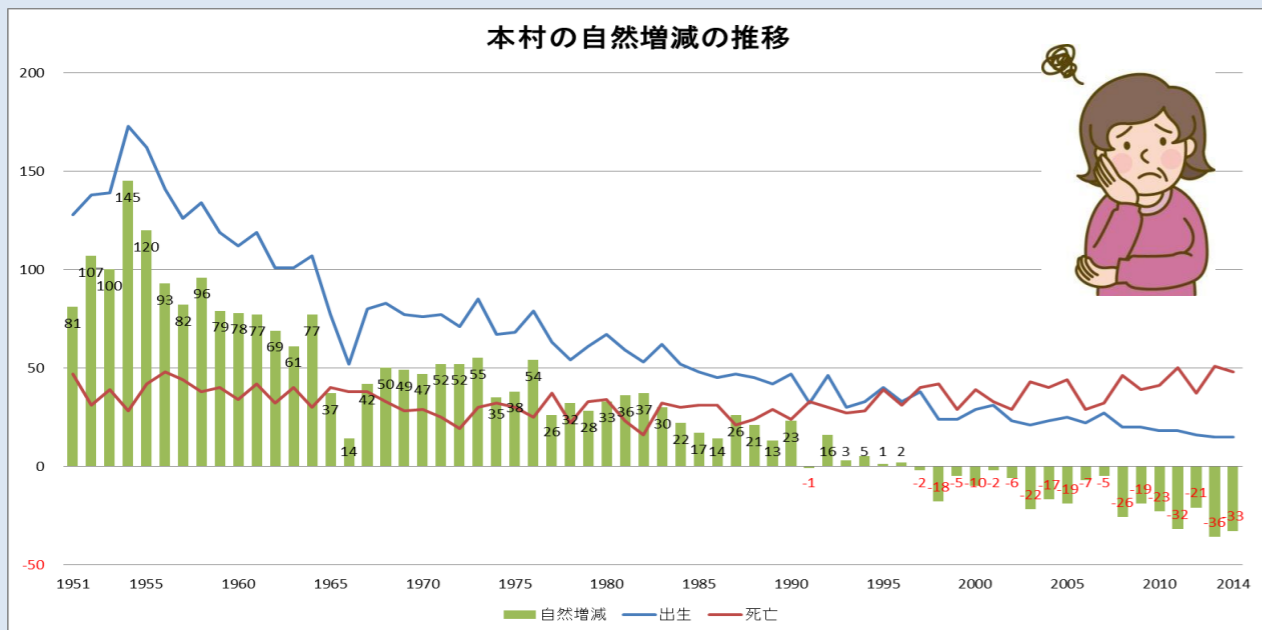


3 人口減少のメカニズム（社会減）

普代村の人口の「社会減」は、全国との経済・雇用情勢の差との関係や進学期や就職期の若者の転出による影響が大きく、特に就職期の女性の転出が原因となっています。なお、県内への転出が最も多く、次いで東京圏の転出による社会減となっています。

2 人口減少のメカニズム（自然減）

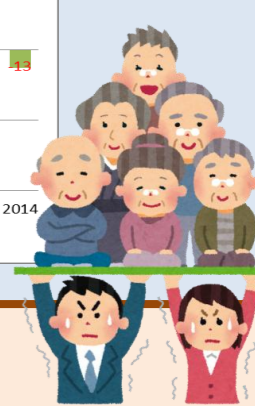
普代村の人口の「自然減」は、平成9年（1997年）以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状況にあり、若年女性の減少と出生率の低迷が原因となっています。また、出生率の低迷の背景には、未婚化晩婚化の進行があります。



○ 普代村の人口減少に伴う課題

- ①地域経済への影響、②地域医療、福祉・介護への影響、③教育・地域文化への影響、④地域公共交通への影響、⑤地域コミュニティへの影響、⑥行財政への影響

普代村まちづくりアンケート集計結果においては、「①地域経済への影響」と「②地域医療、福祉・介護への影響」を懸念する割合が高くなっています。生産年齢人口の減少による生産力の低下と後継者不足がより深刻化し、さらには、全国的な高齢化による地域医療、福祉・介護を担う労働力不足が懸念されています。



普代村人口ビジョン（素案）の概要（2/2）

「普代村人口ビジョン」は、本村における人口の現状を分析し、今後の人口展望を示すもので、2040年、また、さらにその先の長期的な展望を示します。

○ 普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開

人口減少は、地域の活力を失わせるばかりか、各集落の消滅を招く可能性もあり、普代村の存続も危惧される切迫した現実です。

人口減少の背景には、経済政策等の影響が起因していることのほか、育児や子育てに要する費用の上昇や出産と育児の両立が困難になってきているなど様々な原因が考えられます。

村では、こうした人口減少を引き起こす様々な原因を、国や県の取り組みと一緒に、住民目線で小回りの利いた施策推進の指針となる「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を積極的に展開していきます。

○ 普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの目標

第4次普代村総合発展計画に掲げる「人づくり、協働、地域力」の基本理念のもとに、次の4つの基本目標の実現のため、住民目線で小回りの利いた多様な施策を推進し続けます。

基本目標1 地域における安定した雇用を創出する



若者が仕事にやりがいや、満足に生活するための所得の向上を図り、「より生きがいを感じる働きやすい、住みやすい普代村」を実現します。

基本目標2 地域への新しい人の流れをつくる



村にしかない魅力を創造し、新たな産業へと結びつけ、若者が移住・定住を希望する、「生きがいを感じ住みやすい普代村」を実現します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



普代村が持つ豊かな自然、安心・安全な食など、子育てに適した環境をさらに伸ばしながら、就労や出会い、結婚・出産、子育てを支援し、「子育てにやさしい普代村」を実現します。

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



これからも村民のみなさんが、この地で心豊かに安心していらしていただくことができるよう、「地域の魅力を最大限に活かし続ける普代村」を実現します。

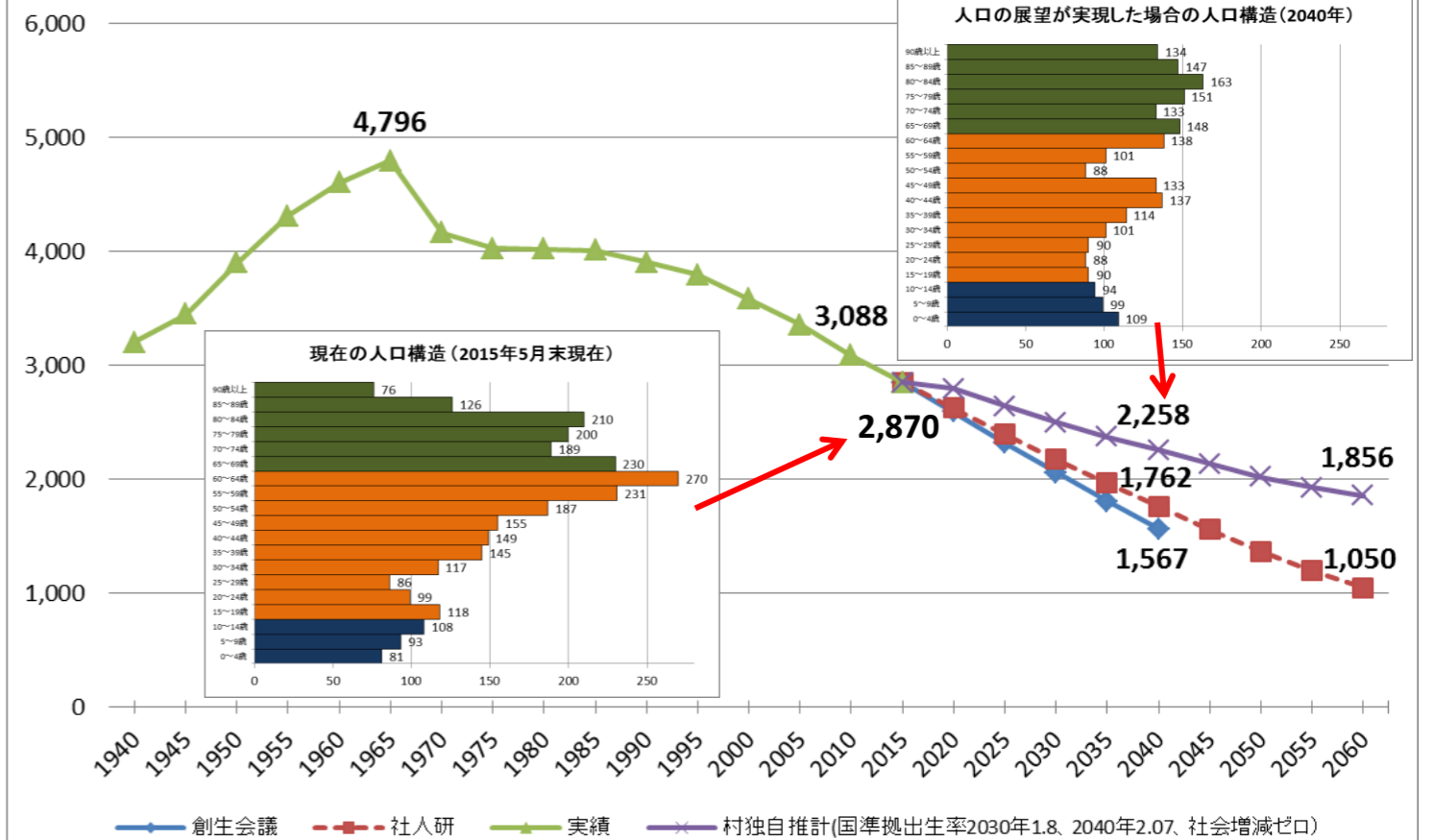
○ 人口の展望

「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの目標の実現に向けた施策を推進し続けることにより、

☆人口減少に歯止めがかかり、人口減少率が低下し、「2040年には2,258人程度の人口が確保」されます。

☆出生率が向上し、社会増減ゼロが実現し、「人口構造の若返りと村内消費に与える影響の改善」が図られます。

本村人口の将来推計



○ 「人口の展望」が実現した場合の普代村の姿



①多世代が生き生きと暮らす地域社会が実現

普代村の人口は2040年以降も減少しますが、あらゆる世代の人口構造が安定してきます。こうした人口構造は、その後の将来人口の安定にもつながり続けます。

②産業が進化した、新しい人の流れの創出が実現

普代村の素晴らしい地域資源が活かされた新たな産業が生み出され、「まち」が輝き、「ひと」が笑顔で、「しごと」と「暮らし」が調和した地域社会の創造が期待されます。